

エコアクション21 環境活動レポート

(2018年4月～2019年3月)



エコライン株式会社

作成日 2019年8月31日

目 次

1.	組織の概要	P 2－6
2.	登録対象範囲	P 7
3.	環境方針	P 8
4.	環境目標	P 9
5.	環境活動計画	P 10
6.	環境目標の実績	P 11
7.	環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P 12－14
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	P 15
9.	代表者による全体評価と見直しの結果	P 16

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

エコライン株式会社

代表取締役 藤本 剛

(2) 所在地

本 社 静岡県静岡市駿河区南八幡町25番25号

本 店 静岡県静岡市葵区鷹匠1丁目1番1号

※ 本店は、登記簿記載上の所在地であり、実際の事業活動は行っておりません。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 杉山 充

担当者 環境管理事務局 総務部 池端 小夜子

連絡先 TEL 054-289-6650 FAX 054-289-6616

ホームページ : <http://www.eco-line.jp>

(4) 事業内容 建設業(建物解体工事の請負など)

産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬及び処分

廃食油のバイオディーゼル燃料化

(5) 事業年度 4月～3月

◆事業規模と許可・登録内容

設立年月日 2003年1月16日
資本金 4,000万円

(1) 事業規模（本社及び中間処理場）

項 目	2016年度	2017年度	2018年度
売上高（百万円）	979	859	906
従業員数（人）	27	25	23
敷地面積（㎡）	1,331.4	1,331.4	1,331.4

決算月は3月。2010年10月より本社は藤枝市から静岡市に移転。

① 事業規模（本社）

項 目	2016年度	2017年度	2018年度
売上高（百万円）	818	684	715
従業員数（人）	17	16	14
敷地面積（㎡）	195.13	195.13	195.13

② 事業規模（中間処理場・再生廃食油工場）

項 目	2016年度	2017年度	2018年度
売上高（百万円）	161	175	191
従業員数（人）	10	9	9
敷地面積（㎡）	1,136.28	1,136.28	1,136.28

③ 事業規模（受託した産業廃棄物の処理量）

処理方法	廃棄物等種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	一般廃棄物		0.13
	産業廃棄物		3,436.95
	特別管理廃棄物		0
中間処理		破碎・圧縮・熔融	3,536.52
		圧縮	644.17

④ 重機・車両台数

車 種	台 数
キャブオーバー	3
脱着コンテナ	2
2tダンプ	2
営業車(普通車)	12
営業車(軽自動車)	2
バックホウ	2
フォークリフト	2

(2) 許可関係

① 建設業許可

地 域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区物・建設業の区分
静岡県知事許可(特-24)	第32383号	H30年2月14日 H35年2月13日	(特定建設業) 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

② 産業廃棄物収集運搬業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第02201103973号	H30年6月26日 H35年6月25日	(積替え、保管を除く) 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、汚泥(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 以上10品目
東京都	第13-00-103973号	H29年8月27日 H34年8月26日	(積替え、保管を除く) 汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) (水銀使用製品産業廃棄物を含む) 以上10種類
愛知県	第02300103973号	H30年7月13日 H35年7月12日	(積替え、保管を除く) 汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃油、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上10品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)
神奈川県	第01405103973号	H29年9月4日 H34年9月3日	(積替え、保管を除く) 汚泥、廃油、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上10品目

③ 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第02251103973号	H28年4月17日 H33年4月16日	(積替え、保管を除く) 引火性廃油、特定有害廃石綿等 以上2品目
愛知県	第02350103973号	H30年7月13日 H35年7月12日	(積替え、保管を除く) 引火性廃油、特定有害廃石綿等 以上2品目
京都府	第02650103973号	H28年5月15日 H33年5月14日	(積替え、保管を除く) 廃石綿等 以上1品目
東京都	第13-54-103973号	H28年7月24日 H33年7月23日	(積替え、保管を除く) 廃石綿等 以上1品目
神奈川県	第01455103973号	H28年9月25日 H33年9月24日	(積替え、保管を除く) 廃石綿等 以上1品目

④ 産業廃棄物処分業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第02222103973号	H27年9月30日 H32年9月29日	(中間処分) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 7品目

⑤ 一般廃棄物（ごみ）処理業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
焼津市	第54-6号	H30年4月1日 H32年3月31日	(収集・運搬) 一般廃棄物（生ごみ以外の可燃物）
牧之原市	第29-2号	R1年5月15日 R3年5月14日	(収集・運搬) 一般廃棄物 木くず、紙くず(感染性で無いものに限る)、 ビン、缶、ペットボトル、小動物等の死骸
吉田町	第28-8号	H30年12月24日 H32年12月23日	(収集・運搬) 事業系一般廃棄物 (し尿及び浄化槽汚泥又は感染性でないものに限る)

(3) 施設等の状況

① 中間処理 静岡県焼津市八楠字中ノ坪 1 1 3 番1

② 積み替え保管施設 . . . 無し

③ 施設の種類の種類

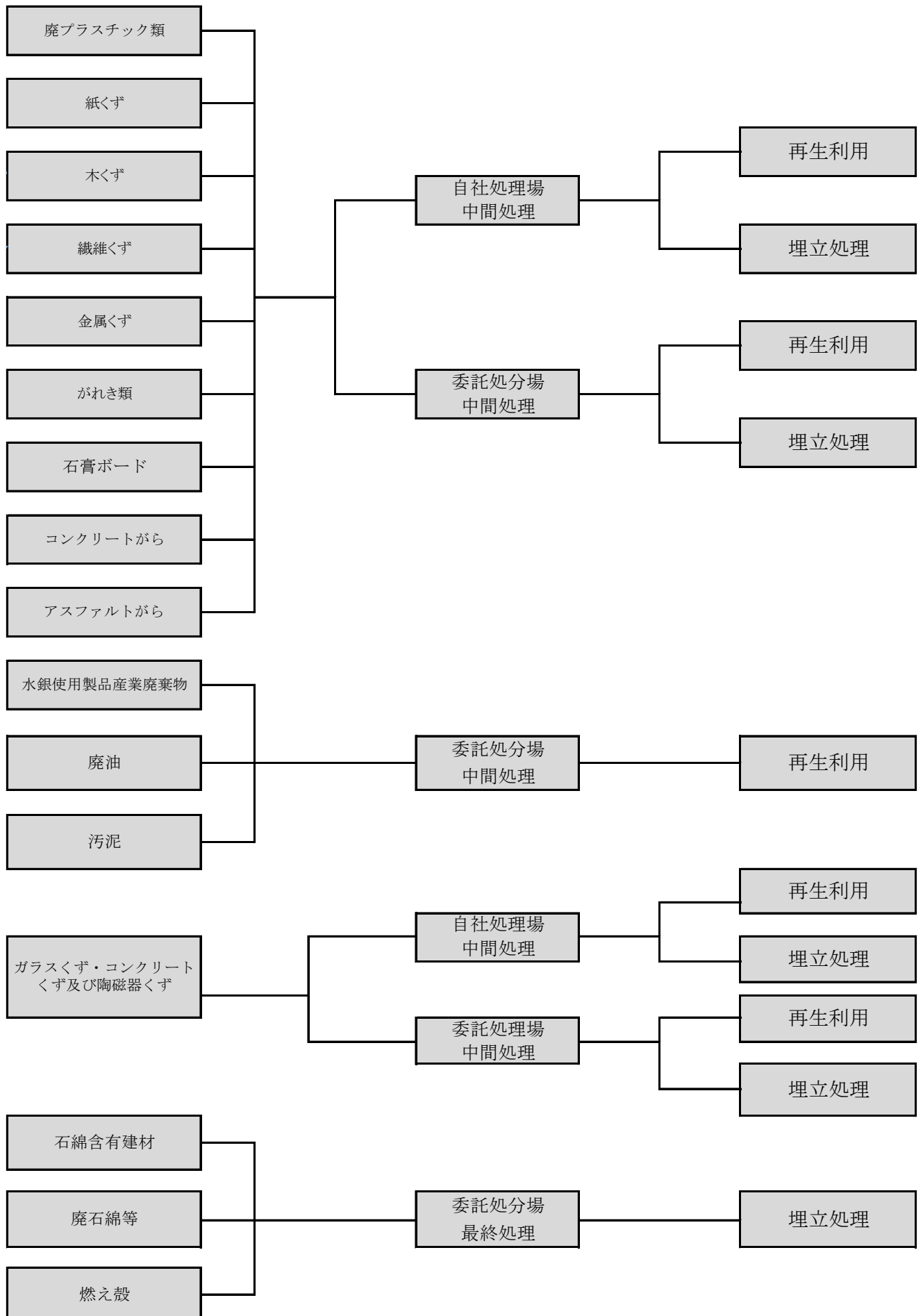
破砕 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	廃プラスチック類	4.40 t/日 (8.0時間)
	金属くず	4.96 t/日 (8.0時間)
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	4.80 t/日 (8.0時間)
	がれき類	4.88 t/日 (8.0時間)
	紙くず	4.16 t/日 (8.0時間)
	木くず	4.48 t/日 (8.0時間)
	繊維くず	4.24 t/日 (8.0時間)

圧縮 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	廃プラスチック類	0.28 t/日 (8.0時間)
	金属くず	2.56 t/日 (8.0時間)
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	1.06 t/日 (8.0時間)
	がれき類	1.16 t/日 (8.0時間)

破砕 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	ガラスコンクリート陶磁器(廃石膏ボード)	3.52 t/日 (8.0時間)
	紙くず(廃石膏ボード)	0.39 t/日 (8.0時間)

溶融 固化 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	廃プラスチック類	0.17 t/日 (8.0時間)

◆産業廃棄物処理フロー

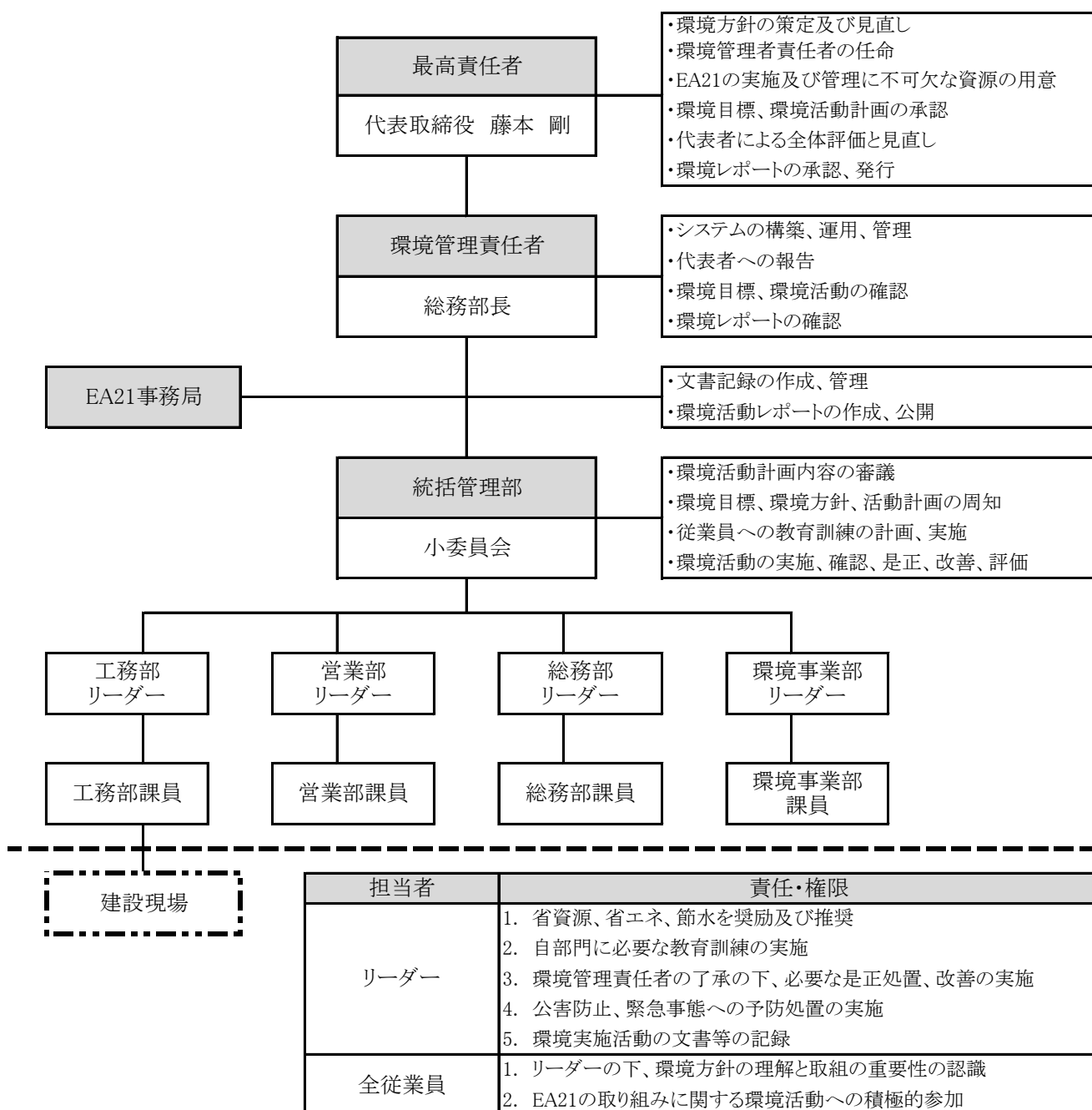


2. 登録対象範囲

本社及び全事業所における業務並びに従業員を対象とする。

< 本 社 >	静岡県静岡市駿河区南八幡町25番25号 TEL 054-289-6650 FAX 054-289-6616
< 志太営業所 >	静岡県焼津市八楠113番1 TEL 054-621-6650 FAX 054-621-6660
< 中間処理場 >	静岡県焼津市八楠113番1 TEL 054-621-0010 FAX 054-621-0008
< B D F 工場 >	静岡県焼津市八楠1丁目14番地11

◆実施体制図



3. 環境方針

(基本理念)

当社は、建設業、廃棄物処理業としての事業活動を行う中で、環境に影響を与える立場であることを認識し、環境問題への対応を経営の重要事項としてとらえ、全社員一丸となって地球環境保全に努めます。

(行動指針)

1. 各事業所の環境に関連する対策として、次のことを推進します。
 - ① 地球温暖化防止として、省エネルギーを推進します。(二酸化炭素排出量の削減)
 - ② 環境汚染防止として、資源の有効利用を目指し、リサイクルを推進します。
 - ③ 節水に努めます。(水使用量の削減)
2. 近隣・地域の環境保全並びに、工場内の環境衛生のために最善の努力をします。
3. 環境関連法規制を遵守し、地域社会との調和に努めます。
4. 環境方針を達成するため、環境目標を設定し、全従業員で取り組みます。

2007年9月1日 制定

エコライン株式会社
代表取締役社長 藤本 剛

4. 環境目標

●基準年度については2016年度を基準値とした。

●基準年より、毎年▲0.5%を削減目標とする。

(1) 総務・営業部門

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	13,151	13,019	12,954	12,888
	ガソリン	ℓ	10,890	10,781	10,727	10,672
	総排出量	kg-co2	32,028	31,708	31,548	31,387
水使用量		m3	67.0	66	66	66
一般廃棄物		kg	706	699	695	692

(2) 工務部門

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	7,723	7,646	7,607	7,569
	ガソリン	ℓ	18,033	17,853	17,763	17,672
	総排出量	kg-co2	45,830	45,372	45,143	44,913
水使用量		m3	450	446	443	441
一般廃棄物		kg	1,140	1,129	1,123	1,117
産業廃棄物		t	4,546	4,501	4,478	4,455

(3) 中間処理センター

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	32,334	32,011	31,849	31,687
	ガソリン	ℓ	1,730	1,713	1,704	1,695
	LPG	kg	35	35	34	34
	軽油	ℓ	17,393	17,219	17,132	17,045
	総排出量	kg-co2	66,353	65,689	65,358	65,026
水使用量		m3	180	178	177	176
産業廃棄物中間処分量		t	1,309	1,296	1,289	1,283
産業廃棄物リサイクル率		%	64.4	65.0	65.4	65.7

(4) 総合計

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	53,208	52,676	52,410	52,144
	ガソリン	ℓ	30,653	30,346	30,193	30,040
	LPG	kg	35	35	34	34
	軽油	ℓ	17,393	17,219	17,132	17,045
	総排出量	kg-co2	144,211	142,769	142,048	141,327
水使用量		m3	697	690	687	683
一般廃棄物		kg	1,846	1,828	1,818	1,809
産業廃棄物		t	4,546	4,501	4,478	4,455
産業廃棄物中間処分量		t	1,309	1,296	1,289	1,283
産業廃棄物リサイクル率		%	64.4	65.0	65.4	65.7

注)二酸化炭素排出量は、2012年度中部電力CO2排出係数0.513を使用。

5 環境活動計画

2018年4月1日～2019年3月31日

目的	活動内容	責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二酸化炭素の削減	購入電力の削減	不要照明の消灯												
		空調機器の消し忘れ確認												
		通風活用、扇風機併用												
		更新時に省電力型機器・器具への移行	随時											
		空調温度の適温化 (夏季:28℃、冬季:23℃)												
		空調機器の定期清掃												
		クールビズ、ウォームビズの奨励												
	化石燃料の削減	エコドライブの励行・教育												
		効率的ルートでの運行												
		車両メンテナンスの定期実施	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初
		エコカー、コンパクトカーへの移行推進	随時											
		建設機械の適正管理(点検・負荷等)												
		ガス給湯機の適正使用												
水使用量の削減	水使用量の削減	節水の掲示(事務所・工場・工事現場)												
		水道管の定期的チェック												
		工事現場の計画的な粉塵対策 清掃使用時、効率的な使用												
廃棄物の削減	総排出量の削減	建設廃材の分別の徹底												
		再資源化率の向上												
		ビン、缶、ペットボトル等の分別徹底 (事務所・工場)												
	紙の類削減使用量の削減	裏紙の再利用												
		見直しによる印刷ミスの徹底												
		ペーパーレス化の推進(社内掲示板の利用)												
グリーン購入	グリーン購入	環境に配慮した事務用品等への転換												
		省エネ性能の高い事務機器への移行	随時											
環境保全意識	環境保全意識	環境教育の実施(途中入社社員含む)	随時											
		環境方針への周知徹底 (各部会での啓蒙)												
		環境上の緊急事態への準備と対応 (訓練の実施)												
		協力業者へEA21取り組みの協力要請												
地域環境	地域環境	近隣住民に対して工事周知 (騒音、振動の対策)												
		地域清掃活動への参加												

6. 環境目標の実績

(1) 総務・営業部門

項目		単位	2018年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	12,954	10,681	121.3%	○
	ガソリン	ℓ	10,727	9,826	109.2%	○
	総排出量	kg-co2	31,548	28,293	111.5%	○
水使用量		m3	66	67	98.7%	△
一般廃棄物		kg	695	574	121.1%	○

(2) 工務部門

項目		単位	2018年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	7,607	7,377	103.1%	○
	ガソリン	ℓ	17,763	18,796	94.5%	△
	総排出量	kg-co2	45,143	47,421	95.2%	△
水使用量		m3	443	597	74.2%	×
一般廃棄物		kg	1,123	380	295.5%	○
産業廃棄物		t	4,478	18,063	24.8%	×

(3) 中間処理センター

項目		単位	2018年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	31,849	29,411	108.3%	○
	ガソリン	ℓ	1,704	1,209	141.0%	○
	LPG	kg	34	79	42.9%	×
	軽油	ℓ	17,132	28,353	60.4%	×
	総排出量	kg-co2	65,358	92,542	70.6%	×
水使用量		m3	177	285	62.1%	×
産業廃棄物中間処分量		t	1,289	4,181	30.8%	×
産業廃棄物リサイクル率		%	65.4	52.1	79.6%	△

(4) 総合計

項目		単位	2018年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	52,410	47,469	110.4%	○
	ガソリン	ℓ	30,194	29,831	101.2%	○
	LPG	kg	34	79	42.9%	×
	軽油	ℓ	17,132	28,353	60.4%	×
	総排出量	kg-co2	142,049	168,256	84.4%	×
水使用量		m3	686	949	72.3%	×
一般廃棄物		kg	1,818	954	190.6%	○
産業廃棄物		t	4,478	18,063	24.8%	×
産業廃棄物中間処分量		t	1,289	4,181	30.8%	×
産業廃棄物リサイクル率		%	65.4	52.1	79.6%	×

★目標達成状況 達成率 ○ 100%以上 △ 100%未満～85%以上 × 85%未満

7. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○良好 △一部良 ×不良 ー実績なし

目的		活動内容	結果	評価・課題
二酸化炭素の削減	購入電力の削減	不要照明の消灯	○	活動項目については、リーダー中心に進められており、適正に運用できている。 忘れがちな空調機器の消し忘れだが、タイマー設定で自動OFFにより、消し忘れ防止を図っている。 本社事務所の空調温度を効率よく一定温度に保つため、夏季においては扇風機の併用を実施して室内の適温化に努力した。また、空調機器の室外機周辺の清掃を行い空気循環するようにした。 クールビズ、ウォームビズについては、恒例の行事となっている。
		空調機器の消し忘れ確認	○	
		通風活用、扇風機併用	○	
		更新時に省電力型機器・器具への移行	ー	
		空調温度の適温化 (夏季:28℃、冬季:23℃)	○	
		空調機器の定期清掃	○	
		クールビズ、ウォームビズの奨励	○	
	化石燃料の削減	エコドライブの励行・教育	○	活動項目については、リーダー中心に適正に運用できている。 化石燃料の使用量について、工務部門・中間処理センター共に売上高の増加により目標値を大幅に超えた。 燃費向上を目的に、ハイブリッド車の導入を行った。(2台) 効率的ルート、運行記録簿、メンテナンス等についても今後も継続的に推進する。 ガス給湯器については、目標値を超えたが、適正に使用されていた。活動項目は次年度も継続。
		効率的ルートでの運行	○	
		車両メンテナンスの定期実施	○	
		エコカー、コンパクトカーへの移行推進	○	
		建設機械の適正管理(点検・負荷等)	○	
		ガス給湯機の適正使用	△	
水使用量の削減		節水の掲示(事務所・工場・工事現場)	○	活動項目については、各リーダー中心に運用できている。元請工事が多かったため、水使用量はオーバーしてしまった。節水掲示、水道管の定期チェック、現場での使用については、安全パトロール時にチェックを行った。次年度も継続。
		水道管の定期的チェック	○	
		工事現場の計画的な粉塵対策 清掃使用時、効率的な使用	○	
廃棄物の削減	総排出量の削減	建設廃材の分別の徹底	○	活動項目は、実施されている。 産業廃棄物の排出量について、工務部門・中間処理センター共に売上高の増加により目標値を大幅に超えた。また、生活由来の廃プラスチック類の輸入禁止の影響をうけ再資源化率にも影響をした。 産業廃棄物排出量の削減については、次年度も継続。
		再資源化率の向上	○	
		ビン、缶、ペットボトル等の分別徹底 (事務所・工場)	○	
	紙の類削減量の削減	裏紙の再利用	○	活動項目は、実施されている。 ペーパーレス化の推進として、印刷ミスは、ジョブ確認しないまま、スタートを押してしまう時にミスしがちなので、朝礼でジョブ確認の呼び掛けを行い、社内掲示板も効率的に使用した。次年度も継続。
		見直しによる印刷ミスの徹底	○	
		ペーパーレス化の推進(社内掲示板の利用)	○	
グリーン購入		環境に配慮した事務用品等への転換	○	事務用品は、総務リーダーを中心に環境配慮商品に移行している。今後もエコマーク商品の購入を継続的に実施する。活動項目は、次年度も継続。
		省エネ性能の高い事務機器への移行	○	
環境保全意識		環境教育の実施(途中入社社員含む)	○	活動項目は、各リーダー中心に実施されている。 協力業者には、弊社の安全大会時にエコアクション21の環境理念と行動指針の説明時間を取り、取り組みへの理解と協力要請を行った。 緊急事態の対応として、バイオディーゼル精製工場にて油流失対処訓練を実施。業者についても同様な取り組みへの理解と協力要請を行っていく仕組み造りが今後の課題である。活動項目は、次年度も継続。
		環境方針への周知徹底 (各部会での啓蒙)	○	
		環境上の緊急事態への準備と対応 (訓練の実施)	○	
		協力業者へEA21取り組みの協力要請	○	
地域環境		近隣住民に対して工事周知 (騒音、振動の対策)	○	活動項目は、実施されている。近隣には、事前に工事案内文の配布。防音・振動対策の実施。地域清掃活動への参加。次年度も引き続き継続。
		地域清掃活動への参加	○	

(5) グリーン購入の促進	結果	評価・課題
・環境に配慮した事務用品等への転換 ・省エネ性能の高い事務機器への移行	○	事務用品については、総務リーダーを中心に環境配慮商品に移行している。今後もエコマーク商品の購入を継続的に実施する。
	○	
(6) 環境保全意識の向上	結果	評価・課題
・定期的な環境教育の実施(途中入社社員含む) ・環境方針への周知徹底(各部会での啓蒙) ・環境上の緊急事態への準備と対応(訓練の実施) ・協力業者へEA21取り組みの協力要請	○	中間処理センターにて、油流失環境保全訓練の実施。 協力業者への取り組みとしては、安全大会にて弊社のエコアクション21の環境基本理念と行動指針の共有を図り、取り組みへの協力要請を行った。 今後は、新規協力業者についても同様な取り組みの協力要請を継続して行っていくしくみをつくることが課題である。
	○	
	○	
	○	
(7) 地域環境	結果	評価・課題
・近隣住民に対して工事周知(騒音・振動の対策) ・地域清掃活動への参加	○	工事開始前、近隣への挨拶回り、案内文の配布実施。前年同様、防音シート、養生、低振動建設機械の実施など。今後も継続して行う。
	○	

注) 次年度計画については、基本的に本年度取組内容を継続実施とする。

●ボランティア活動報告（地域清掃）

平成30年5月1日(火) 静岡市駿河区S B S健康センター前交差点 清掃を実施



平成30年12月3日(月)



ポリテクセンター前交差点・歩道



平成31年月1日(金)



ポリテクセンター前交差点・歩道



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況

遵守状況確認日 2019年 3月 29日

法規・条例・規制	内 容	取組状況	遵守状況
建設業法	建設業の健全な発達の促進、公共の福祉の増進	静岡県知事の許可 5年に一度の更新 (平成30年更新)	○
建設リサイクル法	建設工事に係る資源の有効な利用と廃棄物の適正処理	分別解体・再資源化の実施 建設リサイクル法の届出状況	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	廃棄物排出の際の適正処理	産業廃棄物委託契約締結 マニフェスト管理・保管	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物処理業者による不適切な処理の防止	産業廃棄物委託先の確認、 運搬・処分状況の報告	○
下水道法	公共用水域の水質の保全	工事基準の遵守、各種手続きの 適正処理	○
浄化槽法	浄化槽による適正な処理、 生活環境の保全	浄化槽の定期的な保守点検の実施	○
騒音規制法	静岡県生活環境の保全に 関する条例・施工規則	作業内容・時間管理・特定作業 の実施届出	○
振動規制法			○
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンを対象に使用済み家電のリサイクルを推進	家電リサイクル券の購入 適正処理	○
グリーン購入法	環境負荷の考慮	エコマーク表示商品の優先購入	○
消防法	消防設備の届出と点検と報告	消防設備の定期点検・火災訓練 の実施	○
労働安全衛生法	労働者の安全と衛生管理	健康診断の定期実施、解体现場等 の安全パトロールの実施	○
フロン排出抑制法	フロン類使用の合理化及び 管理の適正化	定期点検の義務化・履歴の記録	○

(2) 違反・訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規について順守状況を点検した結果、上記の通り違反なく関係法規を遵守していることを確認しました。また、関係行政当局より違反等の指摘はなく、訴訟についてもありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境活動開始後、今年で11年を経過しました。ここ数年の環境活動において、軽油・ガソリン・水使用量は、増加傾向にあります。解体工事業において産業廃棄物収集運搬経路の増加、近隣対策での粉塵飛散防止等での散水处理等によるものが増加の要因となっております。

未達成の項目もありますが、継続は力となり、全従業員が環境活動に高い意識を持ち日常業務の中で主体的に取り組んでいることが感じ取られます。

事業活動において、環境に与える影響の大きい業界ではありますが、今後も活発に職場会議等での周知、意見交換等を行い、環境経営活動に取り組み、地元及び取引先からも信頼され、愛される企業をめざして頂きたい。

変更の必要性

環 境 方 針	変更の必要性はなし
---------	-----------

環 境 目 標	変更の必要性はなし
---------	-----------

環 境 活 動 計 画	変更の必要性はなし
-------------	-----------

環 境 関 連 法 規	変更の必要性はなし
-------------	-----------

2019年7月19日

代表取締役 藤本 剛